



昭和30年度 青少年巡回文庫利用状況

出張所別	閲覧冊数(分類別)											利用人員		
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	男	女	計
信夫	—	5	4	16	2	3	7	—	5	120	162	57	39	96
伊達	6	38	2	29	2	24	7	4	7	240	359	166	103	269
安達	1	11	9	26	4	1	8	2	2	132	196	73	72	145
安積	—	5	5	14	1	3	5	18	1	207	259	116	46	162
岩瀬	—	—	3	6	2	4	5	6	3	50	79	36	7	43
南津	2	4	2	8	1	2	6	1	—	112	138	63	28	91
北会	—	6	2	15	—	15	5	11	11	199	264	100	47	147
耶麻	—	—	3	5	—	3	14	34	33	213	305	113	63	176
西沼	—	19	8	64	5	34	10	63	5	350	558	215	90	305
東白	—	9	4	6	2	4	3	5	—	132	165	63	38	101
石川	1	7	5	8	4	5	5	3	2	121	161	61	36	97
石川	—	8	3	7	3	3	4	6	—	123	157	67	27	94
田村	—	16	—	14	1	27	2	4	8	180	252	158	50	208
石城	—	4	—	8	7	4	7	14	2	126	172	44	52	96
双葉	—	5	6	7	4	6	8	15	—	119	170	53	42	95
相馬	—	4	11	8	20	4	9	16	10	144	226	40	58	98
計	10	141	67	241	58	142	105	202	89	2,568	3,623	1,425	798	2,223
比率	0.2	3.9	1.9	6.7	1.6	3.9	2.9	5.6	2.5	70.8	100.0	64.3	35.7	100.0

点字図書

県内盲人に対する点字図書奉仕活動として、昭和二十六年十月より貸出開始、盲人協会各支部を通じ、点字蔵書目録を無料配付し、郵送貸出、送料復往とも本館負担でその利用に供している。現在蔵書数二、五八六冊、利用者(登録制)二五八人である。

この事業の大きな悩みは、点字図書の出版が極めて少いことである。従ってこの難問解決のため、本館では一般読眼者に点訳奉仕運動を提唱し、点訳講習会の開催、また点訳技術未修得者のために通信教授等を行っている。さいわい第二種社会福祉事業福島県点字図書協力会という外部団体があり、このほか昭和三十年六月には福島赤十字点訳奉仕団が結成され、ともに本館点字事業に協力している。

点訳奉仕者は現在四七名あり、多忙のかたわら盲人福祉のため全くの無料、定評のある一般図書、特に新刊書を点訳している。現在の蔵書中一三八種、二八九冊はこの人々の努力によってつくりあげられたものである。
なお本館は厚生省指定点字図書館でもある。
(利用状況次頁参照)